

科目ナンバリング		G-MED11 5E037 LB87									
授業科目名 <英訳>		創薬医学概論 Introduction to Drug Discovery and Development				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 特定教授 早乙女 周子			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2022・ 通年不定	曜時限	その他	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
創薬ビジネスに必要な基礎知識の習得を目的とし、標的探索から臨床試験までの創薬プロセス、製薬企業におけるビジネス戦略、薬事行政の考え方について学習する。また、創薬事例、創薬基盤技術等、具体的事例についても紹介する。											
【到達目標】											
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創薬シーズの発掘から医薬品承認までのプロセスと、各ステージに必要なファクター（創薬技術、倫理、薬事）を説明することができる。</li> <li>2. 創薬戦略、創薬ビジネスモデルを提案することができる。</li> <li>3. 創薬基盤技術について説明することができる。</li> </ol>											
【授業計画と内容】											
<p>以下のような内容について授業を行う予定である。（全15回）</p> <p>第1回 4月15日 5限 (MIC 1階セミナー室) イントロダクション 創薬ビジネスの現状</p> <p>第2回 4月21日 6限 (G棟セミナー室B) 創薬プロセスI</p> <p>第3回 4月28日 6限 (G棟セミナー室B) 創薬プロセスII</p> <p>第4回 5月11日 5限 (MIC) 創薬におけるビジネス戦略</p> <p>第5回 5月20日 5限 (MIC) 標的探索からスクリーニングまで</p> <p>第6回 6月10日 5限 (MIC) 非臨床試験</p> <p>第7回 6月16日 6限 (MIC) 薬事</p> <p>第8回 7月6日 5限(MIC) 探索臨床I</p> <p>第9回 7月15日 5限 (MIC) 探索臨床 II</p> <p>第10~15回 創薬事例 創薬分野における新技術 等（調整中）</p> <p>*外部講師の都合により日程変更の可能性有</p>											
【履修要件】											
<p>創薬医学講座の学生は、修士課程2回生で履修すること。 上記以外の学生については、修士課程1回生でも履修可。</p>											
【成績評価の方法・観点】											
平常点（出席を含む：配分20%）、レポート（配分80%）により、総合的に評価する。											
----- 創薬医学概論(2)へ続く -----											

## 創薬医学概論(2)

### [教科書]

使用しない  
必要な資料は講義にて配布する。

### [参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

### [授業外学修(予習・復習)等]

適宜予習復習を求める

### (その他(オフィスアワー等))

講義の一部は、「メディカル分野技術経営学概論」(社会健康医学系専攻開講科目)と一緒にを行うため、当該講義を履修後、「メディカル分野技術経営学概論」を履修した場合は、「メディカル分野技術経営学概論」は増加単位となります。

原則対面講義としますが、やむを得ない事情が生じた場合は、オンライン講義として実施します。

### 【連絡先】

創薬医学講座

E-mail : [contact@ddm.med.kyoto-u.ac.jp](mailto:contact@ddm.med.kyoto-u.ac.jp) Tel: 075-366-7417

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。